

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター	対象年度	令和5年度
------	-----------------------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認・評価		
1. 維持管理業務	2
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 防犯・防災対策		
(6) 料金徴収業務		
2. 運營業務	5
(1) 利用実績		
1) 利用者数等（又は入居率等）		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
(6) 企業支援		
3. 自主事業	8
II. サービスの質の確認・評価	9
III. 財務状況の確認・評価	11
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	13
1. 目標		
2. 評価結果		
附表 経営状況分析シート	14

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター	対象年度	令和5年度
指定管理者	バイオセンター運営共同体 構成員名 一般社団法人トロピカルテクノプラス ヤシマ工業株式会社 指定期間:令和5年4月～令和9年3月	所管課	商工労働部 ものづくり振興課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	○		土日祝祭日を除き、清掃員1名で実施。センタースタッフも参加。	関係書類等の確認により適切に実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	ロビーやトイレ、階段等の共用部分及び事務室について、清潔さが保持されている。日報等の関係書類も、整理・保管されている。今後も館内を清潔に保つため適切に対応する必要がある。
〈定期清掃〉	○	○	ワックス塗布:2回/年 カーペット清掃:2回/年 除草:6回/年 窓ガラス清掃:2回/年 適宜スタッフ対応			

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
分析機器・実証機器の保守管理 特殊実験室の保守管理	○		分析機器・実証機器の日常保守管理 日常点検、第一種圧力容器の法定検査	関係書類等の確認により適切に実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	業務仕様書に基づき指定管理者及び委託業者による点検が実施されている。委託業者からの業務完了報告書は適正に受理され、整理・保管されている。今後も適宜必要に応じて点検を実施する必要がある。
受変電設備点検		○	定期点検:1回/月 年次点検:1回/年			
空調設備点検	○		定期点検:2回/年			
昇降機点検		○	遠隔点検:1回/月 定期点検:4回/年 定期検査:1回/年			
消防設備点検	○		機器点検:1回/年 総合点検:1回/年 (機器点検も実施)			
空気環境測定	○		定期検査:1回/月			
貯水槽点検	○		定期点検:1回/月 定期清掃:1回/年			
水質検査	○	○	定期検査:2回/年 簡易水道検査:1回/年 水質検査・残塩測定:1回/月			

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
中央監視装置等による設備管理、防災、空調、その他設備機器の保守管理	○		○総合設備管理 ○空調機器点検 ○消防用設備点検 ○自家用電気工作物の保安	関係書類等の確認により適切に実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	業務仕様書に基づき委託業者による点検が実施されている。当該業者からの業務報告書は適正に整理・保管されている。また、24時間体制で機械警備が実施されている。関係書類も適正に整理・保管されている。今後も施設の保安・警備について、適切に対応する必要がある。
機械警備		○	○閉館時間帯を含む24時間体制で機械警備(セコム)を実施し非常時対応できる体制を整えている。			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
施設の修繕を実施	○		空調設備、防災設備、設備関連、機器関連等の修繕を実施	関係書類等の確認により適切に実施されている。	1件50万円未満の修繕については、指定管理者の予算内において適切に実施されている。	今後も県と指定管理者による調整により、修繕の優先順位を定め、適切に実施する必要がある。

(5) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
火災予防 巡回点検 入居者情報提出 来訪者等の確認 駐車場管理	○		○防火管理者主導による消防訓練実施。 ○設備管理者職員により毎日の開館閉館時に巡回点検の実施。 ○来訪者に対しての入口での確認の実施。 ○年度初めに、入居企業から安全管理リストの提出を求め、駐車場使用車両の確認。不審車両や放置車両対策として職員による巡回確認を実施。	事業報告書等のとおり実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	火災防止について、自衛消防隊を組織し、消防訓練が適切に実施されている。施錠・鍵の保管について、指定管理者が確認作業を実施しており、来訪者についても、随時確認が行われている。入居者・指定管理者の安全を確保するため、今後も安全管理を適切に実施する必要がある。

(6)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
利用料金の徴収及び返還、キャンセル等について対応する。	○		利用料金の徴収及び返還、キャンセルについて、適時適切に対応した。	事業報告書等のおり実施されている。	事業計画のおり実施されている。	適切に利用料金等の徴収・返還・キャンセル業務が行われている。また、関係書類についても適切に整理・保管されている。今後も継続して適切に料金徴収を行う必要がある。
施設利用料及び光熱水費等について入居者等から徴収を行う。	○		施設利用料及び光熱水費等について適時適切に徴収を行った。			

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	各項目とも適切に対応している。今後も適切な施設の管理運営に取り組む必要がある。
--------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R6年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 入居率等 ※利用者数等で測れない施設は「1) 利用者数等」に代えて記載

	R4年度実績	事業計画 (目標値)	R5年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
				前年比	計画比	
入居率 16室/16室	16室	16室	16室	100%	100%	バイオ産業振興センターへ移動した1社を含む計3社退去したが、3社新規入居し満室となった。
入居率等を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。				評価(①利用状況)		S

【評価基準】
①利用状況
目標値に対する達成率
S：110%以上、もしくは満室
A：100%以上、110%未満
B：80%以上、100%未満
C：80%未満

2) 施設稼働率

	R4年度実績	事業計画 (目標値)	R5年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
				前年比	計画比	
平均稼働率	(施設) 年間平均稼働率:69%	年間平均稼働率 70%以上	(施設) 年間平均稼働率:70%	100%	100%	施設稼働率は目標値を達成した。 機器稼働率については、月あたりの機器利用数は前年比減だが、備品管理のためR4年度末に実施した故障機器の廃棄に伴い、前年同等となった。
	(機器) 年間平均稼働率:18% 《内訳》 研究機器:27%(251回/月平均) 実証機器:8%(49回/月平均)	年平均稼働率 12%以上	(機器) 年間平均稼働率:18% 《内訳》 研究機器:28%(234回/月平均) 実証機器:8%(38回/月平均)	150%	150%	
平日・土日祝日別稼働率						
施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。				評価(①利用状況)		S

【評価基準(①利用状況)】
目標値に対する達成率
S：110%以上
A：100%以上、110%未満
B：80%以上、100%未満
C：80%未満

3) 教室・イベント等参加者実績

	内容	R4年度実績	事業計画	R5年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
					前年比	計画比	
機器講習会等	機器利用説明会等	令和4年9月13日 「FT-TRを用いたマイクロプラスチック分析実習」 参加者:19名(入居者:1名) 達成率:95%(目標値:20名)	講習会開催 2回/年	令和5年5月22・23日 「微生物迅速同定システムMALDIバイオタイパー講習会」参加者:43名(入居者:4名) 達成率:108%(目標値:40名)	125%	250%	事業計画以上に開催し参加者数もおおむね目標値に達している。今後も利用者のニーズを把握し、適切な講習会を行うとともに、多くの利用者に周知を行う必要がある。
		令和4年12月7日 「LC/MS/MSはここまで使える!!使いこなしのポイント」 参加者:9名(入居者:4名) 達成率:90%(目標値:10名)		令和5年11月15日 「LC/MSセミナー」 参加者:13名(入居者:6名) 達成率:130%(目標値:10名)			
		令和5年2月2日 企業支援(知財の戦略的活用のポイントとは?) 参加者:11名(入居者:3名) 達成率:110%(目標値:10名)		令和6年2月20日 「アミノ酸分析セミナー」～HPLCによる自動プレカラム誘導体化アミノさん分析～ ～IPランドスケープの活用場面や特許マップ作成の方法論～ 参加者:11名(入居者:9名) 達成率:110%(目標値:10名)			
		令和5年3月8日 企業支援(国の施策を自社の研究開発・事業化に活用してみませんか!) 参加者:18名(入居者:4名) 達成率:90%(目標値:20名)		令和5年5月31日 企業支援セミナー(高付加価値な素材開発における新たなアプローチと挑戦) 参加者:33名(入居者:6名) 達成率:110%(目標値:30名)			

				令和6年2月14日 企業支援セミナー(人材確保に関する企業セミナー「多様な人材確保にむけた事業活用」) 参加者:16名(入居者:6名) 達成率:80%(目標値:20名)			
	内容	R4年度実績	事業計画	R5年度実績	整合性の検証 前年比 計画比		現状分析・課題
連絡会議	入居企業との連絡会	令和4年9月15日 参加者:15社19名 達成率:100%(目標値:15社/15社)	2回/年	令和5年9月22日 参加者:14社19名 達成率:88%(目標値:16社)	100%	100%	連絡会議は、施設の円滑な運営に必要であり、企業間のつながりにも大切な会である。今後も継続して実施する必要がある。
		令和5年3月14日 参加者:15社23名 達成率:93%(目標値:15社/16社)		令和6年3月22日 参加者:10社16名 達成率:62%(目標値16社)			
防災訓練等	地震・津波防災訓練	令和4年11月2日 「沖縄県広域 地震・津波避難訓練」へ参加。地震・津波発生時の避難経路の確認。	防災訓練 1回/年	令和5年11月2日 「沖縄県広域 地震・津波避難訓練」へ参加。地震・津波発生時の避難経路の確認。	100%	100%	海に隣接していることもあり、防災管理・津波等への対策を、今後も徹底する必要がある。
	消防訓練	令和5年1月18日 参加者:33名/33名 (達成率:100%)	消防訓練 1回/年	令和5年11月30日 参加者:26名/26名 (達成率:100%)	100%	100%	
計					106%	138%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書等)	(現地確認)		
〈開館日数〉	243日 (土日祝祭日・年末年始休暇 12/29日～1/3日を除く)	事業報告書等のとおりである。	事業計画のとおりである。	適切な会館日数、開館時間である。
〈開館時間〉	8時30分から17時00分			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
入居企業からの相談や苦情に真摯に対応する。また、入居を検討している企業や見学者に対しても、丁寧な接客を行うよう十分配慮する。	○		入居者連絡会議、ヒアリング等を行い、相談や苦情等にも随時対応した。日常的にコミュニケーションをとるよう心掛け、良好な関係を保つよう努めた。	事業報告書等のとおり実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	利用者からの評価は良好であることがアンケートの結果から確認できた。今後も入居者・外部利用者・視察者との良好な関係を維持し、丁寧な対応をする必要がある。
			アンケートを実施し、入居企業の要望に答える体制を取った。			
			高度分析器・実証機器の専門知識を有するスタッフによる、技術サポートを行った。			
			視察や見学についても随時受入れを行い、256名の視察者に対応した。			

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
HP、チラシ、各種イベント等を利用した広報活動	○		第5回 再生医療EXPO【東京】 令和5年7月5日～7月7日 東京ビッグサイト 新規入居企業の発掘、情報収集、施設のPR(名刺交換:24名)	事業報告書等のおお り8回実施されている。	事業計画のおお り県内外で広 報活動を行っている。	県内外の展示会やイベントに参加し施設のPR を行っている。 今後も入居率、機器の稼働率を高めるとともに、 入居企業の事業拡大に向けて各種イベントに 参加し、施設のPR・情報発信を継続的に実施 する必要がある。 県外での広報活動については、バイオ産業振 興センターの展示会出展等に合わせて、バイオ センター分も広報している(展示のみ)。
			沖縄県企業誘致セミナーin大 阪 令和5年8月1日 グランフロント大阪 新規のPR、入居企業の事業内 容紹介(名刺交換:25名)			
			Bio Japan2023 和5年10月11日～13日 パシフィコ横浜 新規入居企業の発掘、情報収 集施設のPR(名刺交換:224名)			
			第46回沖縄の産業まつり 令和5年10月27～29日 奥武山公園・県立武道館 施設のPR、入居企業紹介 (ブース対応:80団体)			
			メディカルクリエーションふくしま 2023 令和5年11月1日～2日 ビッグパレットふくしま 新規入居企業の発掘、情報収 集、施設のPR(名刺交換:28 社)			
			沖縄市産業まつり 令和6年1月13日～14日 奥武山公園・県立武道館 施設のPR、入居企業紹介(名 刺交換:31名)			
			第19回 うるま市産業まつり 令和6年1月28日～1月29日 イオン具志川・うるマルシェ、沖 縄工業技術センター、他 施設のPR、入居企業の事業紹 介(パネル展示、施設パンフ レット)(名刺交換:31名)			
			第9回 再生医療EXPO【大阪】 令和6年3月13日～15日 インテックス大阪 新規入居企業の発掘、情報収 集、施設のPR(名刺交換:16 名)			

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
個人情報書類等 は適正な情報管 理に努める。	○		個人情報書類等は施錠可能な キャビネットに保管し、情報漏洩 がないように努め、取扱いには 細心の注意を払った。 デジタル情報を保管している共 有ストレージ装置については適 切なアクセス権を設定し、各PC にはセキュリティソフトを導入し て管理している。	事業報告書等のおお り実施されている。	事業計画のおお り実施してい る。	個人情報については、今後も書類は鍵付きの 保管庫等に収納し、デジタル情報も適切に管理 する必要がある。

(6) 企業支援

事業計画	実施主体 (該当者に○ 印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
【継続】 企業支援業務 の実施	○		相談件数:131件 ○技術・商品開発へのアドバイ スや情報提供、センター機 器紹介。	企業支援業務につ いては事業報告書等 のとおり実施されて いる。	企業支援業務につ いては事 業計画のとおり実施している。	企業支援件数は目標値(160件)に届かなかったが、前年度件数(122件)から向上した。今後もこれまでに培ったネットワークを活用し、県内関連企業からの聞き取りを行うなど、課題やニーズ把握に取り組む必要がある。
【継続】 課題解決・機器 利用促進の取 組み	○		入居企業向け機器セミナー の実施。うるま市事業と連携 したバイオ人材育成への取 組(高校生に向けた見学会、 機器研修)を実施。			

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○ 印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
【継続】 受託加工試験 の実施	○		実施件数:20件 ○乾燥・粉末加工、無菌試 験等	事業報告書等のと おり実施されている。	事業計画のとおり実施して いる。	昨年度より受託加工試験は8件減少した。受託加工試験の実施は機器稼働率を高めるとともに、新規顧客等利用者を増やすことにもつながるため、引き続き実施する必要がある。 施設内販売、健康診断実施は入居者等の利便性や満足度向上のため、引き続き、実施する必要がある。 交流会は、施設の円滑な運営に必要であり、企業間のつながりにも大切な会である。今後も継続して実施する必要がある。
施設内販売	○		実施件数:101件 ○施設消耗品販売等	事業報告書等のと おり実施されている。		
健康診断の実 施	○		日 時:2023年8月8日 内 容:定期健康診断 受診者:15名/6社	事業報告書等のと おり実施されている。		
交流会の実施	○		実施回数:3回 ○バイオ系施設入居企業交 流会(計:45名/19社) ○中城湾新港地区交流会 (2回)(計:117名/80社)	事業報告書等のと おり実施されている。		

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	事業計画に基づき適切に実施している。施設稼働率向上のためにも、さらに設置機器の稼働率向上を目指す必要がある。そのためにも、引き続き、機器利用の簡便な手続きや料金の減免、利用者ニーズに合った機器講習会開催等、利用しやすい環境づくりを心掛ける必要がある。ただし、費用対効果を念頭に入れ、コストのかかりすぎに注意する必要がある。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R6年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅱ. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		入居企業の利用者を実施		回答者数	16社	アンケート内容		別紙参照
評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者	現状分析・課題		
	R4年度評価	R5年度目標	R5年度評価					
維持管理業務	施設・設備管理 〈満足度〉88% ・満足:53% ・やや満足:35% ・やや不満:9% ・不満:3% アンケート回答率 98%(55名/56名) ※空調、清掃に関する設 問を合わせた結果	〈満足度〉 80%以上を目指 す	〈満足度〉94% ・満足:63% ・やや満足:31% ・やや不満:6% ・不満:0% アンケート回答率 100%(16社/16社)	S	(要望への対応) 改善要望については、改善要望に關しては、使用前に試運転を含む動作確認を行い、利用していただいております。しかし、設備の老朽化により予測しづらい故障等が頻発していることから、不具合については業者と相談の上対応するように努める。 (自己評価) 「清掃、設備の点検・修理・メンテナンスがいき届いている」「機器の十分な維持がされている」という意見がある一方、老朽化している箇所を点検強化の声を頂いている。共用開始から20年を経過し、設備や備品等で経年劣化による不具合や故障等の頻度が多くなってきている。軽微な修繕については早急な回復、迅速な対応を心掛けてはいるが、高額な修繕については所管課へ要望し、早急に対応ができるように調整していきたい。今後も所管課との連携を密にとり、利用者に満足いただけるように施設の維持管理に努めていく。	今回改善要望で挙 げた件について、コ スト面や収支面で迅速 な対応が難しいこともあ ると思われるが、指定 管理者と情報交換を行 い優先順位をつけて、 随時修繕等の対応を 実施していく必要があ る。		
運営業務	接客対応 〈満足度〉96% ・満足:85% ・やや満足:11% ・やや不満:2% ・不満:2% アンケート回答率:98%(55 名/56名)	〈満足度〉 80%以上を目指 す	〈満足度〉100% ・満足:94% ・やや満足:6% ・やや不満:0% ・不満:0% アンケート回答率 100%(16/16社)	S	(要望への対応) 特になし (自己評価) 入居者、訪問者、会議室利用者に対しては、日々丁寧な接客に努めており、「丁寧に対応頂いている」「特に不満はない」「話しやすい、相談しやすい」等の意見をいただいております。今後も利用者目線に立った丁寧な接客を心掛ける。今後も、お客様の満足につながるような対応を心掛けて、今後も利用者に評価頂けるよう丁寧な対応を続けていく。	接客対応の満足度は 高い数値を示しており 利用者の満足度の高 さが伺える。 今後も入居者より良 い関係が築ける丁寧 な対応をする必要があ る。		
施設・設備	〈満足度〉86% ・満足:48% ・やや満足:38% ・やや不満:5% ・不満:10% アンケート回答率:72%(40 名/56名)	〈満足度〉 80%以上を目指 す	〈満足度〉100% ・満足:58% ・やや満足:42% ・やや不満:0% ・不満:0% アンケート回答率 100%(16社/16社)	S	(要望への対応) 修繕等については、軽微なものについては早急な原因究明や復旧に努めているが、費用が高額になるものについては、所管課と相談の上、対応していく。機器の利用においては、利用者が効率的に使用できるよう利用者間の調整等を行いより利用者が有効に機器を活用できるような取組を進めていく。 (自己評価) 分析機器や実証機器には導入から十数年経過し、メーカーサポートが終了している機器や修繕部品の生産が終了しており調達に時間を要するものも出てきている。今後も所管課と連携を密にして利用者に満足いただけるように施設の維持管理に努めていく。	施設・設備の修繕につ いては、指定管理者と 情報交換を行い優先 順位をつけて、随時修 繕を実施する必要があ る。		
利用条件	〈満足度〉90% ・満足:60% ・やや満足:30% ・やや不満:7% ・不満:2% アンケート回答率:76%(43 名/56名)	〈満足度〉80%以 上を目指す	〈満足度〉81% ・満足:56% ・やや満足:25% ・やや不満:19% ・不満:0% アンケート回答率 100%(16社/16社)	A	(要望への対応) 機器利用についてはWEBでの予約に対応している。また、紙での提出が必要な書類については押印省略などの簡素化を行っている。 (自己評価) 入居者および外部利用者に対して日々丁寧な接客を心がけており、「WEBでの対応が可能」「説明がわかりやすい」といった意見を頂戴している。今後も、利用者の満足度を追求し、高い評価をいただけるよう、丁寧なサービスを心がける。	引き続き利用者の要望 に適宜対応し、利用者 が利用しやすい環境を 整える必要がある。		

イベント等	〈満足度〉90% ・満足:30% ・やや満足:60% ・やや不満:10% ・不満:0% アンケート回答率:18%(10名/56名)	〈満足度〉80%以上を目指す	〈満足度〉90% ・満足:40% ・やや満足:50% ・やや不満:10% ・不満:0% アンケート回答率:100%(16社/16社)	S	(要望への対応) イベント等の開催については、入居者等からの意見や要望に応じた企画を行い、早めに案内することで多くの方が参加できるよう努力している。また、当センター外他機関で開催されるイベントや講習会、セミナーについても、メールやポスターでの案内を通じて情報を積極的に提供し、入居者が利用できるように周知活動を続ける。 (自己評価) イベントやセミナーに関しては、利用者や入居企業の要望を取り入れ、内容を精査した上で実施しており、これが企業の満足度向上に繋がっている。「やや不満」という回答に関しては、一度きりのものではなく、基礎から応用に至るまでの複数回の開催を望む声があることから今後検討する。	今後も企業の成長につながるようなセミナー等を開催する必要がある。また、引き続き早期に開催案内を提供する等、できるだけ多くの入居者が参加できるように適切に行っていく必要がある。
評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者	現状分析・課題	
	R4年度評価	R5年度目標	R5年度評価			
自主事業	〈満足度〉100% ・満足:71% ・やや満足:29% ・やや不満:0% ・不満:0% アンケート回答率87%(49名/56名)	〈満足度〉80%以上を目指す	〈満足度〉100% ・満足:75% ・やや満足:25% ・やや不満:0% ・不満:0% アンケート回答率100%(16/16社)	S	(要望への対応) 特になし (自己評価) 自主事業(施設内サービス)については、入居企業から高い評価を得られていることから引き続き満足して頂けるようなサービスを提供していく。 また、受託加工・試験の獲得にむけて、企業に積極的にPRを行っていくとともに、利用者の様々な相談に対応できるようスタッフの技術スキル向上にも努めていく。	自主事業(受託加工試験、施設内販売)については満足度100%と非常に高い評価を得られている。 自主事業に関して相談しやすい環境を引き続き整える必要がある。
総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉91.6%	〈満足度〉80%以上を目指す	〈満足度〉95%	評価 (②満足度)	共用開始から20年を超え、設備・機器等の老朽化による不具合の頻度が多くなってきている。 特に高額な修繕費がかかる施設・設備については所管課との調整が必要のため、長期的に修繕ができない状況が続いている箇所もあり、利用者からの不満の声がでている。必要な修繕箇所については引き続き所管課に要望し、継続的に使える施設の維持に引き続き取り組んでいく。 総合評価が満足度が90%を超えており、運営に関して、一定の評価を頂いている。今後も入居企業や利用者との良好な関係作りを続けていくとともに、迅速、丁寧な対応を心がける。	県との協定に基づき、指定管理業務について適切に実施されている。一般的に入居者からの満足度も高く、コミュニケーションも十分図られていると考えられる。 指定管理者単独では対応できない高額な修繕費がかかる箇所等については、コスト面や収支面で迅速な対応が難しいこともあるが、指定管理者と連携し対応していくことで、サービスの向上に努めていく必要がある。
				S		

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準 (②満足度)】

- 総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

Ⅱ. サービスの質の確認・評価 取組改善案	アンケート結果から施設管理、接客対応、イベント等について入居者から高い評価を得られていることが分かる。今後も引き続き入居者とのコミュニケーション、信頼関係の構築をはかり管理運営する必要がある。また、挙げられた改善要望については県と指定管理者で協議し適宜対応する必要がある。
--------------------------	--

※「Ⅱ. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和6年度)の主な取組改善案を記入すること。

III. 財務状況の確認・評価

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		R4年度実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R5年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
利用料金収入	研究室	40,535,110	41,794,720	-	39,770,379	98%	95%	
	実証室	4,253,928	4,461,084	-	5,657,610	133%	127%	
	会議室利用料	1,431,540	1,400,000	-	1,541,440	108%	110%	
	機器利用料	12,721,297	11,400,000	-	5,507,940	43%	48%	
計		58,941,875	59,055,804	-	52,477,369	89%	89%	
水道光熱費		11,967,424	17,662,366	-	12,869,130	108%	73%	
塵芥料		267,000	264,000	-	280,500	105%	106%	
指定管理料		38,530,000	23,712,000	-	23,712,000	62%	100%	
自主事業収入等		3,089,080	3,200,000	-	1,299,023	42%	41%	
合計(A)		112,795,379	103,894,170	-	90,638,022	80%	87%	
〈現状分析・課題〉								
入居企業のバイオ産業振興センターへの移動もあったが、入居は満室であり、指定管理者の企業誘致等の成果といえる。機器利用料収入と自主事業収入については、R4年度実績や事業計画を下回っている。今後は機器利用や自主事業の広報を積極的に行っていくとともに、引き続き企業誘致を行う必要がある。								

(2) 支出

支出項目	R4年度実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R5年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項(変更理由等)	
人件費	40,376,304	39,264,750	-	39,264,750	97%	100%		
通信運搬費	508,296	468,090	-	457,258	90%	98%		
広告宣伝費	33,410	35,000	-	67,140	201%	192%		
会議費	68,692	30,000	-	6,096	9%	20%		
旅費交通費	210,699	160,000	-	40,080	19%	25%		
消耗品費	5,780,460	3,000,000	-	3,069,561	53%	102%		
修繕費	5,939,761	2,700,000	-	2,179,433	37%	81%		
水道光熱費	23,502,574	32,446,000	-	21,696,260	92%	67%		
新聞図書費	121,800	121,800	-	121,800	100%	100%		
支払手数料	69,755	72,000	-	64,130	92%	89%		
印刷製本費	575,118	300,000	-	5,104	1%	2%		
謝金	528,000	0	-	0	-	100%		
保険料	126,260	140,000	-	123,310	98%	88%		
委託費	16,372,290	13,764,080	-	12,817,460	78%	93%		
施設管理費	8,992,500	7,128,000	-	7,128,000	79%	100%		
租税公課	3,000	3,000	-	2,000	67%	67%		
リース料	961,776	1,016,536	-	1,021,333	106%	100%		
自主事業支出	1,760,213	2,792,480	-	745,347	-	-		
雑損失								
合計(B)	105,930,908	103,441,736		88,809,062	84%	86%		
〈現状分析・課題〉								
水道光熱費は国や県の補助等により想定した事業計画額より費用が抑えられた。印刷製本費は、料金改定等に伴うパンフレット更新がなかったため費用が抑えられた(R4年度に更新)。 おおむね事業計画通りの実績であり、引き続きサービスが低下しない範囲でコスト削減に取り組む必要がある。								

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	R4年度実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R5年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	6,864,471	452,434	-	1,828,960	27%	404%	
収益率 (事業収支(C)/収入(A))	6%	0.4%	-	2%	33%	463%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	52%	57%	-	58%	111%	102%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	38%	38%	-	44%	116%	116%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	15%	13%	-	14%	93%	108%	
〈現状分析・課題〉 事業収支は黒字であり、満室となったことから、安定的な経営が行われているものと考えられる。収入の中でも利用料金収入が半分程度を占めており、今後も入居率の維持及び機器利用の向上に努める必要がある。							

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	A
-----------	---

【評価基準(③財務状況)】
 収益率(事業収支/収入合計)
 A: 0%以上
 B: -5%以上、0%未満
 C: -5%未満

III. 財務状況の確認・評価 取組改善案	収支は黒字で財務状況は良好であるといえる。さらに収入を増加させるためにも機器利用の工場に努め、引き続き積極的な広報活動を行っていく必要がある。
--------------------------	---

※「III. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和6年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	目標設定の考え方	
成果指標	①利用状況	入居部屋数	16室	16室	16室	16室	全16部屋中の入居数
	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	すべてのアンケート結果の平均
財務指標	③財務状況	収益率	0.04	0.04	0.04	0.04	直近の事業計画

2. 評価結果

評価項目	評価指標	R4年度	事業計画 (目標値)	R5年度	R5年度		現状分析・課題	評価 (点数)	取組改善案	R6年度 目標値	
					前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	入居部屋数	16室	16室	16室	100%	100%	バイオ産業振興センターへ移動した1社を含む計3社退去したが、3社新規入居し満室となった。	S (20)	今後とも企業誘致・機器利用促進等を積極的に行う必要がある。	16室
	②満足度	満足度	92%	80%	95%	103%	119%	全般的に入居者からの満足度も高く、コミュニケーションも十分図られていると考えられる。サービスの向上に努めていく必要がある。	S (20)	改善要望は指定管理者と情報交換を行い優先順位をつけて、随時修繕等の対応を実施していく必要がある。	80%
財務指標	③財務状況	収益率	6.1%	0.4%	2%	33%	500%	事業収支は黒字であり、満室となったことから、安定的な経営が行われている。今後も入居率の維持及び機器利用の向上に努める必要がある。	A (5)	引き続きサービスを維持しながら支出の抑制に努め、効率的な運営を行っていく必要がある。	0.04
活動指標	④重点取組事項	企業支援(相談対応の件数)	122件	160件	131件	107%	82%	企業支援件数は目標値(160件)に届かなかったが、前年度件数(122件)から向上した。	B (0)	今後は利用者からの聞き取りを行うなど、課題やニーズ把握に努める必要がある。	160件
総合評価	コロナ禍が収束した外部要因もあるが、入居率(満室)を維持したことは、指定管理者の企業誘致等に起因すると考えられる。今後は機器利用や自主事業の広報を積極的に行う必要がある。							S (45)			

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-I~IIIから転記する。

※「令和6年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

- 目標値に対する達成率
- S : 110%以上、もしくは満室
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

- 総合評価における満足度(各評価項目の平均値)
- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

- 収益率(事業収支/収入合計)
- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

- 目標に対する評価
- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る
- C : 目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

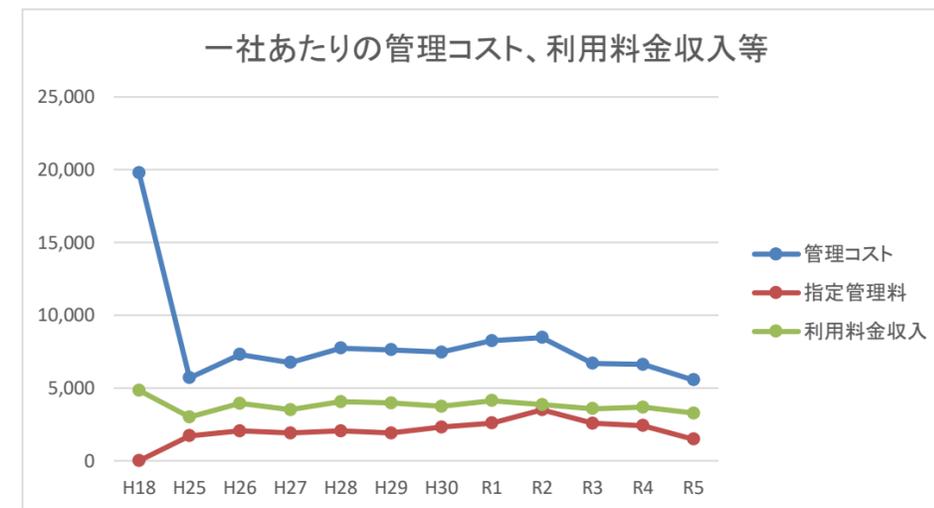
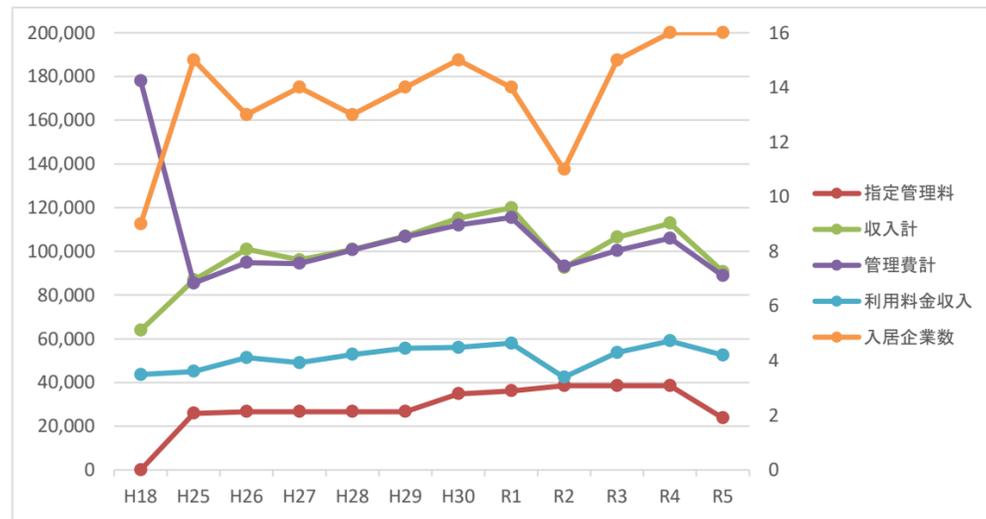
	総合評価基準
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター】

指標	単位	直営				指定管理																		
		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
成果指標	入居企業数	社	5	7	9	9	10	11	11	14	12	14	15	13	14	13	14	15	14	11	15	16	16	
	入居部屋数(全16室) 目標	部屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	16	14	14	15	13	14	16	16	
	実績	部屋	10	12	14	14	15	16	16	16	16	15	15	15	15	16	16	16	15	11	15	16	16	
	目標比	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94%	100%	114%	114%	100%	85%	107%	100%	100%	
	H18比	%	-	-	-	-	107%	114%	114%	114%	114%	107%	107%	107%	107%	114%	114%	114%	107%	79%	107%	114%	114%	
入居率	%	62.5%	75.0%	87.5%	87.5%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.8%	93.8%	93.8%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	93.8%	68.8%	93.8%	100.0%	100.0%		
財務指標	指定管理料	千円	0	0	0	0	39,941	39,941	39,700	31,473	31,473	31,473	25,873	26,612	26,612	26,612	34,800	36,160	38,530	38,530	38,530	23,712		
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%				0%	40%	39%	36%	30%	32%	33%	30%	28%	28%	26%	25%	31%	31%	41%	38%	36%	27%	
	利用料金収入	千円			48,120	43,562	64,281	45,920	48,490	47,477	45,999	48,971	45,095	51,334	49,007	52,748	55,573	56,012	57,944	42,380	53,687	58,942	52,477	
	利用料金比率(利用料金収入/収入計)	%			100%	68%	50%	40%	40%	46%	46%	49%	52%	51%	51%	52%	52%	49%	48%	46%	50%	52%	58%	
	自主事業収入等	千円	0	0	0	0	0	426	758	394	2,296	1,680	2,989	1,519	3,001	2,449	1,618	3,470	1,454	2,559	3,089	1,299		
	水道光熱費(入居者)	千円			20,294	24,805	29,290	31,540	24,042	21,260	16,286	15,349	19,706	18,698	18,185	21,988	22,391	22,044	9,994	11,457	11,457	12,869		
	塵芥料	千円	0	0	0	0	0	145	185	224	217	252	279	262	272	261	285	255	267	195	264	267	281	
	収入計	千円	0	0	48,120	63,856	129,028	115,296	120,341	103,974	99,344	99,278	86,941	100,905	96,106	100,808	106,907	115,076	119,885	92,553	106,497	112,795	90,638	
	管理費計	千円				177,988	101,099	102,547	109,250	104,054	98,802	96,776	85,430	94,847	94,392	100,585	106,603	111,991	115,464	93,126	100,316	105,931	88,809	
	収支	千円	0	0	48,120	-114,132	27,928	12,749	11,091	-80	542	2,502	1,510	6,058	1,714	222	304	3,085	4,421	-573	6,181	6,864	1,829	
	収支/収入計	%			100.0%	-178.7%	21.65%	11.1%	9.2%	-0.1%	0.5%	2.5%	1.7%	6.0%	1.8%	0.2%	0.3%	2.7%	3.7%	-0.6%	5.8%	6.1%	2.0%	
	/単位	一社当たり管理コスト	千円	0	0	0	19,776	10,110	9,322	9,932	7,432	8,233	6,913	5,695	7,296	6,742	7,737	7,614	7,466	8,247	8,466	6,688	6,621	5,551
		一社当たり指定管理料	千円	0	0	0	3,994	3,631	3,609	2,248	2,623	2,248	1,725	2,047	1,901	2,047	1,901	2,320	2,583	3,503	2,569	2,408	1,482	
一社当たり利用料金収入		千円	0	0	5,347	4,840	6,428	4,175	4,408	3,391	3,833	3,498	3,006	3,949	3,500	4,058	3,969	3,734	4,139	3,853	3,579	3,684	3,280	

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。

※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和5年度	沖縄バイオ産業振興センターへ移動した1社を含む計3社退去したが、3社新規入居し満室を維持した。機器利用料収入が減少したことが利用料金収入減の要因である。
令和4年度	事業拡大による工場移転及び沖縄バイオ産業振興センターへの事業集約にともない計2社退去したが、3社新規入居し満室となり利用料金収入増となった。また、機器利用料収入が増加したことも利用料金収入増の要因である。
令和3年度	コロナ禍により実地での広報活動はほとんど出来ていないが、これまでの誘致活動により入居率が大幅に回復したことで利用料金収入増となった。
令和2年度	事業拡大等に伴う入居企業の退去や、コロナ禍により施設の外部利用を制限していた時期もあり利用料金収入減となった。

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター令和5年度入居者アンケート様式

Q1. センターの施設・設備の維持管理(施設内の清掃が行き届いているか、既存設備の点検・修理・メンテナンスが行き届いているか、など)についての満足度をお聞かせください。

満足 やや満足 やや不満 不満 理由()

Q2. センターの管理・運営(入居者が利用しやすい環境にあるか、安全性が確保されているか、災害時の対応がなされているか、など)についての満足度をお聞かせください。

満足 やや満足 やや不満 不満 理由()

Q3. スタッフの接客対応(挨拶、言葉づかい)について満足度をお答えください。また、その理由や改善点等も併せてお答えください。

満足 やや満足 やや不満 不満 理由・改善点()

Q4. 施設(機器・会議室等)を利用する際の手続き(利用申込書の記入・提出、web での予約等)についての満足度をお聞かせください。

満足 やや満足 やや不満 不満 手続きしたことが無い 理由・改善点()

Q5. センター設置機器(分析機器・実証機器)についての満足度をお聞かせください。

満足 やや満足 →Q6.へ やや不満 不満 →Q7.へ

利用したことが無い →Q8.へ

Q6. 「満足」、「やや満足」を選んだ方は、理由を下記よりお選びください。(複数回答可)

機器の種類が豊富 スペックに満足している

分析・実証機器に減免制度がある 予約システムによる利用が可能

分析機器が24 時間利用可能 メンテナンスが行き届いている

操作指導を実施している 実証機器で試作ができる 分析に関する相談ができる

加工に関する相談ができる その他()

Q7. 「不満」、「やや不満」を選んだ方は、理由を下記よりお選びください。(複数回答可)

使いたい機器がない スペックが足りない 機器が古い

分析・実証機器の利用料金が有償 予約システムが使いづらい

希望の時間に使えない メンテナンスが行き届いていない 操作指導が不十分

その他()

Q8. 「利用したことがない」を選んだ方は、理由を下記よりお選びください。(複数回答可)

分析・加工の担当ではない 業務に必要ない

自社研究室内に必要な機器がある 使いたい機器・仕様が無い

機器の使い方が分からない サンプルの前処理方法などが分からない

その他()

Q9. センター設置の機器(分析機器・実証機器)でアップグレードを希望する機器や、センターに設置していない機器で利用したい機器がある場合は機器名をご記入ください。

ある ない 機器名()

Q10. 今年度、センターで開催したセミナー・講習会についての満足度をお答え下さい。

満足 やや満足 やや不満 不満 参加していない 理由()

Q11. 今後、開催を希望するセミナーや講習会等がありましたらお聞かせください。(複数選択可)。

- 機器の操作説明(機器名：)
- 機器の概要・分析方法等(機器名：)
- 機器の新製品紹介・PR 等
- 商品開発関連
- 品質管理関連
- 知財・特許関連
- 県内研究シーズ紹介(OIST・琉大等)
- 県外研究シーズ紹介(JST・産総研等)
- 人材育成関連(研究・技術者)
- 人材育成関連(営業)
- 助成金等の紹介
- マーケティング関連
- 経営関連(法務、税務、労務等)
- その他()

Q12. 今後、開催を希望するイベント等がありましたらお聞かせください。(複数選択可)。

- バイオセンター入居者の交流会
- 3施設交流会(バイオセ、ライフセ、振興セ)
- 異業種交流会
- 入居者ピッチ
- 入居者研究発表
- スポーツ大会
- その他()

Q13. センターでは、入居企業支援として、下記のサービス・支援を実施しています。有益と思うものをお答え下さい。(複数回答可)

【利用料減免等】

- 賃料の25%減免措置(創立5年未満)
- 研究機器の無償利用(入居5年以内)
- 実証機器の25%減免措置
- 純水・超純水の利用が無償
- 製氷機の利用が無償
- 夏場に小会議室を1室開放
- 特になし

Q14,15. センターでは入居企業支援として、下記のサービス・支援を実施しています。有益と思うものをお聞かせください(複数選択可)

【機器利用】

- 分析機器の操作指導
- 分析相談
- 実証機器の操作指導
- 加工相談
- 機器消耗品の分割販売、レンタル
- 受託加工
- セミナー等の実施
- 研究機器の試薬類・消耗品の分割販売
- 特になし
- その他()

【企業PR】

- 企業案内リーフレットの作成
- 企業紹介パネルの設置
- 展示会等での案内
- マッチング
- 特になし

【その他】

- 液体窒素の無償提供
- 消耗品販売(ゴミ袋、蛍光灯)
- 交流会の実施
- 駐車場
- 傘の貸し出し
- ご意見箱の設置
- 特になし
- その他()

Q16. 前の質問「入居企業支援について(利用料減免)、(機器利用)、(企業PR)、(その他)」の選択肢に記載したサービス、支援についての満足度をお聞かせください。

- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満
- 理由()

Q17. 現在、サポート(支援)が必要と思われる項目についてお聞かせください(複数選択可)。下記以外に必要な支援がある場合は「その他」にご記入ください。

- 研究開発
- 商品開発
- 知財化
- 事業化
- 製造
- 流通・販売
- 広告
- 資金調達
- 人材調達
- 人材育成
- 品質管理
- 情報収集
- その他()

Q18. センターや沖縄県に対して、ご要望やご意見等がありましたら、ご自由にご記入をお願いいたします。

料金徴収フロー図

賃料

バイオセンター賃料

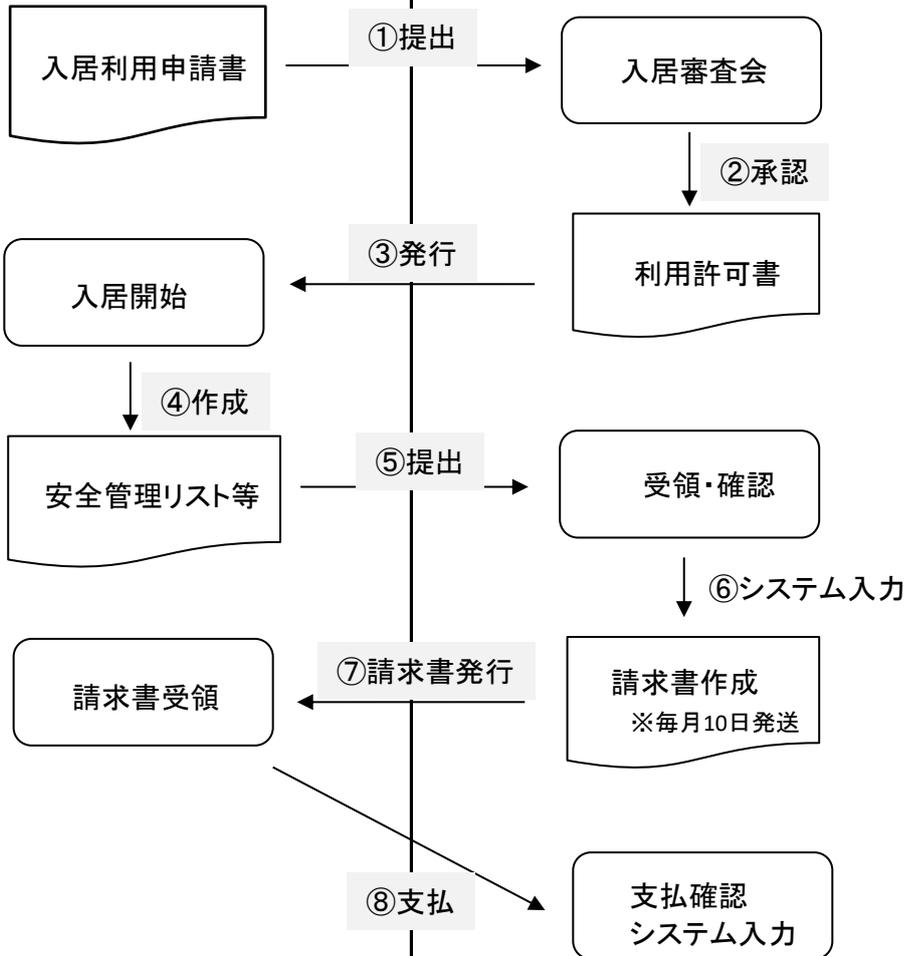
施設の名称

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター

利用料金の種類と金額: 別紙参照

入居者

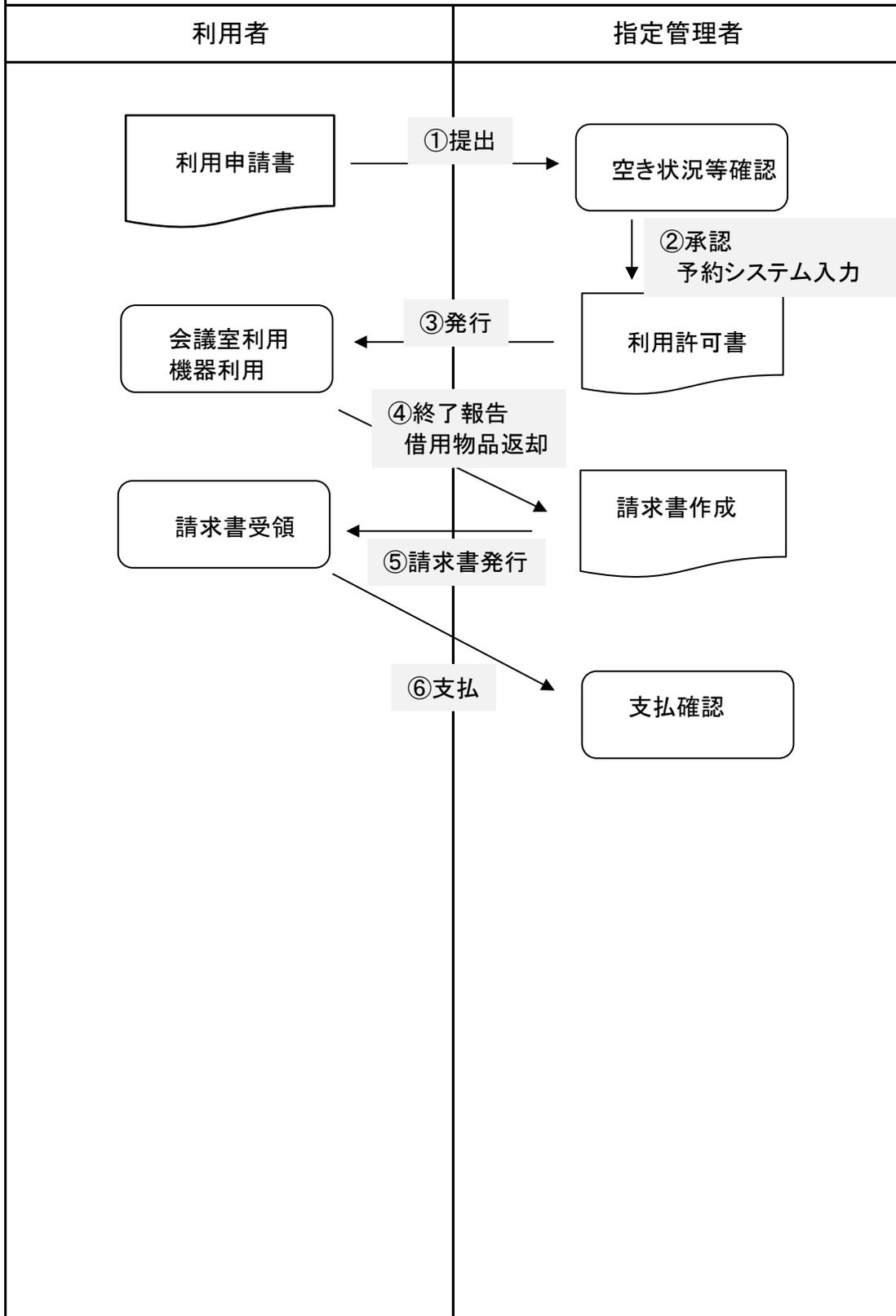
指定管理者



料金徴収フロー図

会議室・機器 | 会議室・機器利用 | 施設の名称 | 沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター

利用料金の種類と金額: 別紙参照



料金徴収フロー図

会議室・機器

会議室及び機器利用

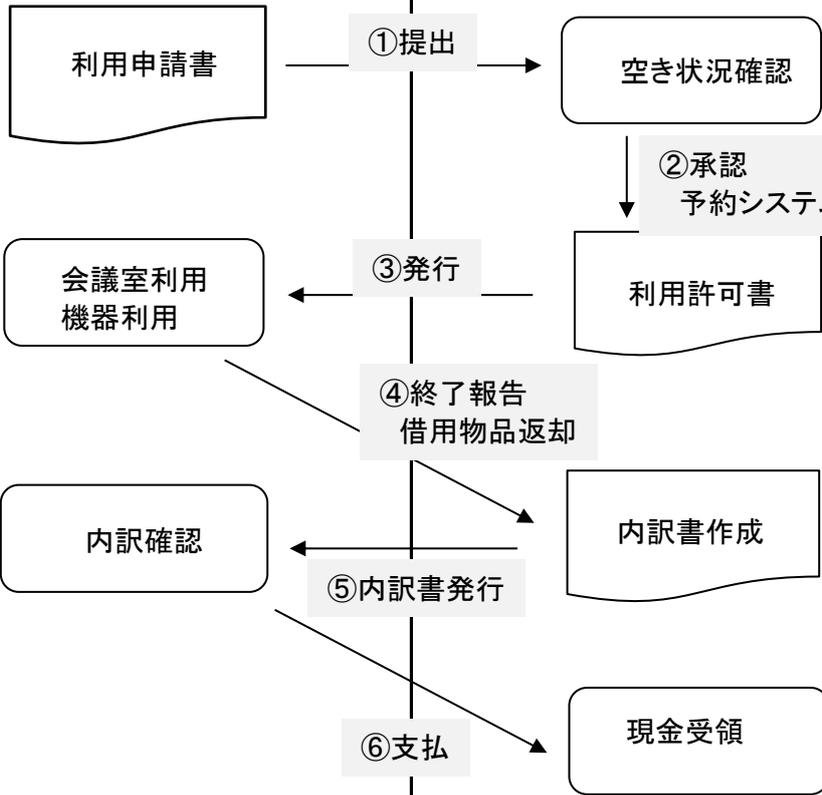
施設の名称

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター

利用料金の種類と金額: 別紙参照

利用者

指定管理者



沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター利用料金表

2023年4月1日以降

研究室

2,200円 (1平方メートル1月につき)

実証室

830円 (1平方メートル1月につき)

分析機器

分析機器	利用料金 (円/時間)
核磁気共鳴装置 (NMR)	4,020
タンデム型質量分析装置	3,090
液体クロマト四重極質量分析装置	5,830
飛行時間型タンデム質量分析装置	7,340
GC-質量分析装置	1,260
超高速液体クロマトグラフ	1,110
高速液体クロマトグラフ	940
光散乱検出高速液体クロマトグラフ	1,890
アミノ酸分析装置	850
分取高速液体クロマトグラフ	640
キャピラリー電気泳動装置	600
自動細胞解析装置	3,010
蛍光マイクロプレートリーダー	330
蛍光イメージスキャナー	170
バイオアナライザー	710
リアルタイムPCR	240
可視・紫外分光光度計	170
超微量分光計	170
蛍光分光光度計	620
FT-赤外分光光度計	580
円二色性分散計	2,890
旋光計	670
蛍光顕微鏡	710
走査型電子顕微鏡	420
レオメーター	220
水分活性装置	260
試験研究用凍結乾燥機	250

実証機器

実証機器	利用料金 (円/時間)	部屋代 (円/日)
実証用凍結乾燥機	3,960	3,569
小型凍結乾燥機	1,510	3,569
送風定温乾燥機	110	3,569
低温乾燥機 (減圧乾燥機)	270	1,189
回転ドラム乾燥機	230	1,189
粗砕機	460	1,687
微粒粉碎機	830	1,687
粉碎機 (気流式粉碎機)	570	1,687
滅菌装置 (レトルト殺菌装置)	1,580	1,189
粉体殺菌装置	2,980	3,569
超高温液体加熱処理装置 (液体殺菌装置)	1,550	3,569
急速冷凍装置	140	1,189
乳化分散機	230	1,189
ニーダー	590	1,687
打錠試験機	1,740	1,687
顆粒機	780	1,687
液体充填機	360	1,687
粉末自動充填機	430	1,687
ジャーファーマンター (90L)	2,320	3,569
ジャーファーマンター (600L)	2,320	3,569
培養タンク (1000L)	1,520	3,569
ドラム式製麹装置	2,350	2,739
ディスク型遠心分離機	1,660	3,569
X線異物検出機	320	1,189

※実証機器の利用には別途、電気料金、蒸気料金がかかります。

会議室等

会議室等	利用料金 (円/時間)
第1会議室 (スクール形式: 40名)	610
第2会議室 (口の字形式: 24名)	450
第3会議室	680
小会議室 (6~8名)	110
研修室 (スクール形式: 72名)	1,060

附属設備等

附属設備等	利用料金 (円/時間)
液晶プロジェクター (スクリーン込み)	1,280
ポータブルアンプ (有線マイク1本込)	500
レクチャーアンプ (研修室のみ)	500
ワイアレスマイク	400
第1会議室冷房	400
第2会議室冷房	290
第3会議室冷房	450
小会議室冷房	80
研修室冷房	710

(注) 料金には10%消費税が含まれます